

地域医療研修

豊橋市民病院

今回の研修では総合診療科外来（初診・再診）、救急外来の初期対応をメインにさせて頂きました。普段の救急外来診療では、緊急性の有無に焦点を絞った診療が主であるため、緊急性がない患者様の再診に関しては翌日以降に専門科外来受診してそこで精査する方針となることもしばしばありましたが、総合診療科外来では、救急外来との診療あり方とはまた異なり、患者様に丁寧に問診・身体診察をとり、症状・所見から鑑別を挙げて、確定診断をなるべくつけ、緊急性の有無に関わらず、必要に応じて精査・加療を行い、軽快・治癒を目指した診療をしていくというものでした。最初は、なかなか慣れずに戸惑うこともあり、指導医の先生方にご迷惑をおかけしましたが、指導医の先生方からの診察後のフィードバックや毎日のカンファレンスでの良かった点、改善すべき点に関するご指摘を頂きまして日々成長することができたように感じます。また、外来からそのまま入院となった患者様に関しては担当をつけて頂きまして、その後の治療方針や検査フォローのタイミング、退院までの経過を見させて頂きました。今回、救急外来とは異なった観点からの診療を経験出来、とても貴重な経験となりました。

また、訪問看護、訪問介護の実際の現場を見学させて頂き、介護保険を利用している患者様の実際の生活を見させて頂きました。普段、研修では介護に関して考える機会は少なく、また仕組みに関しても正直分からない点多かったです。時間の無い中、講義をして頂き介護の分類から申請、承諾までの流れ等細かい内容まで教えて頂きました。また、実際の生活を見ることで介護の必要性を改めて認識させて頂いたとても良い機会となったと思います。

この他にも、毎朝の勉強会や Up to date 勉強会、EBM 勉強会では、新たな知識を得るといふ以上に、先生方の最新の知見を取り入れ患者様に少しでも良い医療を提供しようという姿から学ぶことが多かったです。

1ヶ月間という短い間ではありましたが、温かく迎え入れて丁寧にご指導頂き本当に多くのことを学ばせて頂きました。この経験を豊橋市民病院にもどっても活かしていきたいと考えております。指導医の木村先生、近藤先生をはじめ、総合診療科の先生方、院内の関わって頂いた全てのスタッフの皆様、本当にありがとうございました。